



三教給第24号
令和4年9月16日

三田市学校給食運営協議会 会長 様

三田市教育長 鹿 嶽 昌 功



三田市学校給食のあり方について（諮問）

三田市の学校給食は、現在ゆりのき台給食センター及び清水山給食センターの2か所で調理し、市内40校園の約1万食を提供しております。

学校給食は従来の児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものに加え、地産地消による郷土愛を育むことや食の安全安心を伝えることなど食に関する正しい理解と適切な判断力を養うため学校における食育を推進する重要性も増してきました。

そのような中で、学校給食費は消費税改定相当による改定を除き平成19年4月1日以来実質的に15年間据え置いてまいりましたが、この間の物価上昇などにより、献立内容の工夫だけでは栄養バランスのとれた安全安心で魅力的な学校給食を安定的に提供することが困難な状況となっています。

そこで、このような社会情勢の変化に対応できる本市の学校給食のあり方を考えていく必要があります。

つきましては、今後の三田市学校給食のあり方についてご意見を賜りたく、三田市立学校給食センター設置条例（昭和59年12月25日条例第34号）第5条の規定により下記のとおり諮問します。

記

諮問事項

- (1)三田市の目指す学校給食のあり方
- (2)給食内容の充実（栄養価の確保、地産地消の推進、安全安心な食材の検討等）
- (3)持続可能な給食実施のための保護者と市の負担のあり方